

# エコアクション21 環境経営レポート（2023年）

（活動期間：2023年1月～2023年12月）



発行日 2024年 4月 1日



株式会社 三光エンジニアリング

香川県高松市鶴市町2048番地7  
TEL:087-881-0011

# 目 次

1. 組織の概要	1
2. 環境経営方針	4
3. エコアクション21 組織図及び実施体制表	5
4. 環境経営目標及び実績報告	6
5. 環境経営計画及び取組結果への評価 次年度の取組内容	9
6. 環境関連法規制の遵守状況	13
7. 代表者による全体評価と見直しの結果	14



# 1. 組織の概要

(1)事業所名	株式会社三光エンジニアリング
(2)代表者	代表取締役 飯間 勝之
(3)所在地	
本    社	〒761-8032 香川県高松市鶴市町2048番地7 TEL (087)881-0011 FAX (087)881-0033
高知支店	〒780-0812 高知県高知市若松町1番地23号 TEL (088)883-3875 FAX (088)883-3887
中村営業所	〒787-0013 高知県四万十市右山天神町10-22 TEL (0880)35-8666 FAX (0880)35-8667
広島営業所	〒734-0003 広島県広島市南区宇品東2丁目3-25 TEL (082)530-6076 FAX (082)530-6082
松山営業所	〒791-1113 愛媛県松山市森松町1035番地1 TEL (089)948-8220 FAX (089)948-8221
(4)設立年月日	昭和52年7月18日
(5)資本金	2,000万円
売上高	42,819万円 (2023年度)
(6)従業員数	18名
(7)床面積	1008.49㎡



## (8) 事業内容

### 【電気通信工事業】

電気通信設備の調査設計・申請・施工及び保守点検業務

#### 調査設計



無線通信回線を机上設計し、机上検討による回線を実際に現地で調査します。他に河川の放流警報(サイレン)の音達調査等も行います。

#### 申請



回線を設置するためには無線局の免許申請が必要です。管轄の総合通信局へ種々の資料を作成し、提出します。

#### 工事



無線通信機器、制御用コンピュータ、警報装置等、それぞれのシステムの据付工事を行います。

#### 保守



各種システム、機器等の点検・保守を行います。

机上検討からメンテナンスまで一貫した業務により誠意のこもったサービスを提供します。



# 1. 組織の概要

- (9) 認証・登録事業所 高松本社  
関連事業所 高知支店、中村営業所、広島営業所、松山営業所
- (10) 活動範囲 電気通信設備の調査設計・申請・施工及び保守点検業務  
(全従業員による全組織、全活動を対象範囲とします。)
- (11) 環境管理責任者 本社技術部 福家 優幸
- (12) 連絡先 窓口担当(環境事務局)  
総務部 細谷 智子  
TEL (087)881-0011  
FAX (087)881-0033



### 環境経営方針

#### 〈基本理念〉

我が社は、環境経営システムを確立し、実行して継続的な改善と汚染の予防を行うことにより地球環境への負荷を削減し、社員一丸となって地球環境の保全に積極的に取り組み、環境経営の継続的改善を誓約します。

#### 〈行動指針〉

1. 当社の事業活動に関わる環境関連法規等を遵守し、環境保全に努めます。
2. 事業活動によって生じる環境への影響を考慮し、環境目的・目標を定めて定期的に見直しを行い
  - ① 資源・エネルギーの節約
  - ② CO2排出量の削減
  - ③ 廃棄物排出量の削減と適正処理
  - ④ 水資源の節約
  - ⑤ 環境に配慮した施工業務の推進を図り、環境保全に努めます。
3. 環境経営方針は全社員へ周知し環境への意識向上を図ると共に、地域社会への公開等、よき社会人として地域社会にも貢献します。
4. 環境への取組結果を環境経営レポートに取りまとめ社外にも公表します。

2009年11月17日 制定

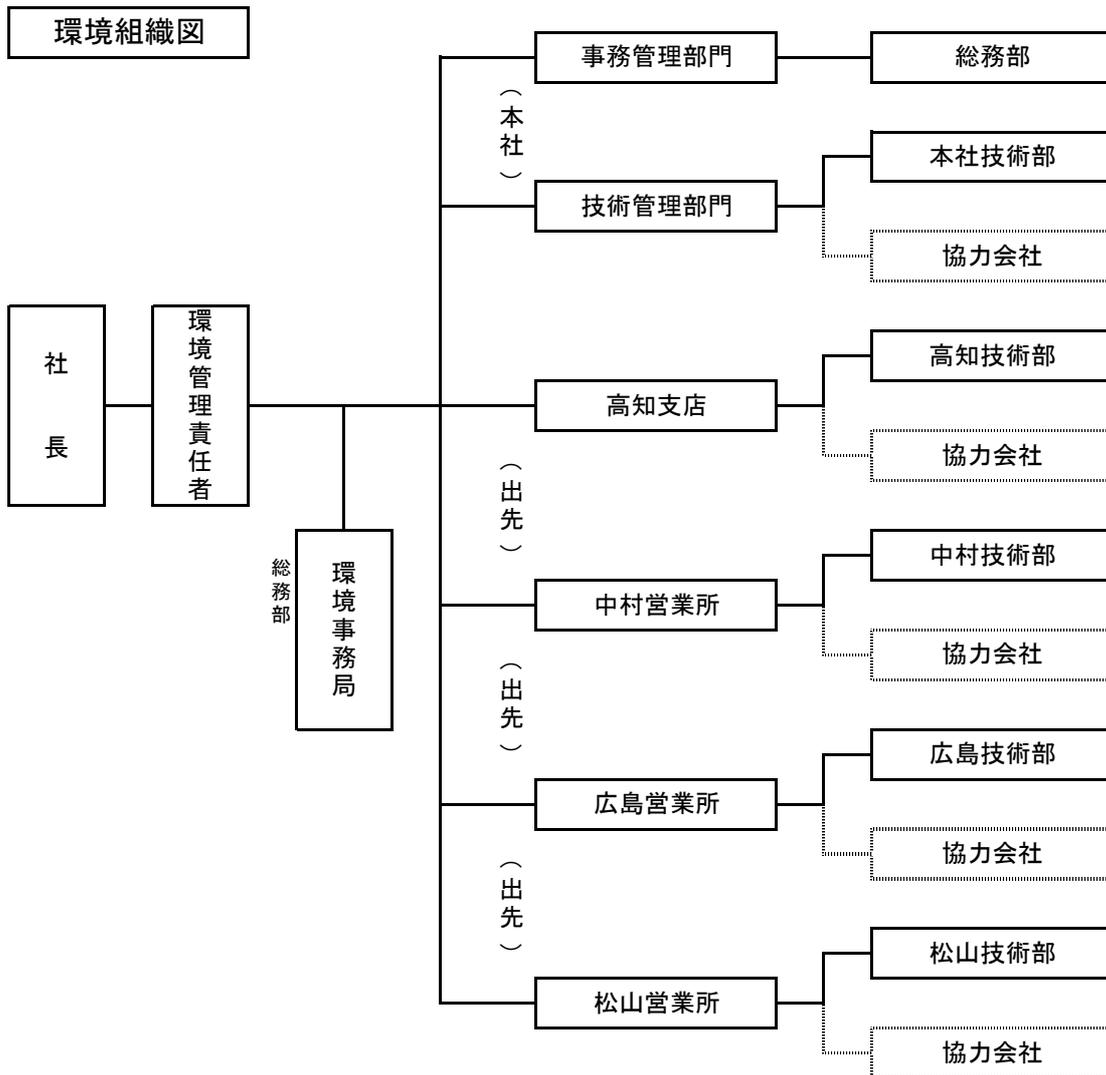
2022年10月 5日 改定

株式会社 三光エンジニアリング

代表取締役 飯間 勝之



### 3. エコアクション21 組織図及び実施体制表



	役割・責任・権限
社長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営資源を明確にし、提供する最高責任者</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し及び全社員への周知</li> <li>・環境経営目標の設定を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し</li> <li>・代表者による経営における課題とチャンスの明確化</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境法規、条例・その他要求事項一覧表を承認</li> <li>・環境経営活動実施計画書を承認</li> <li>・内部監査を実施</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックを実施</li> <li>・環境法規、条例・その他要求事項一覧表を作成</li> <li>・環境経営目標、環境経営活動実施計画書を作成</li> <li>・環境経営活動の実績を集計</li> <li>・社内緊急連絡体制表の作成及び訓練</li> <li>・環境に関する外部コミュニケーションの窓口</li> </ul>
各部署の グループ長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境経営目標及び環境経営計画の実施及び報告</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の理解と取組の重要性を理解</li> <li>・環境日報の作成</li> </ul>

## 4. 環境経営目標及び実績報告

### 1. 環境経営目標

自己チェックシートの結果を基に、当社の「環境への負荷状況」を把握した結果

「環境経営目標」を下記の通り決めました。

項目		年・削減率	基準値 (2020年、2021 年の平均値)	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
CO <sub>2</sub> 排出量の削減 及び 省エネルギーの推進	二酸化炭素排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )		85,055	84,204	83,354	82,503	81,653
	電力使用量(kWh)		33,045	32,714	32,384	32,053	31,723
	車両燃料(ガソリン・軽油) 使用量(L)		28,799	28,511	28,223	27,935	27,647
	車両燃費(km/L)		11.3	11.4	11.5	11.6	11.7
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量(kg)		693	687	680	673	666
	産業廃棄物排出量(t)		5.1	5.1	5.0	5.0	4.9
水資源の削減	水使用量(m <sup>3</sup> )		97	96	95	94	93
環境に配慮した 施工業務の推進	作業の効率化 ヒューマンエラーの撲滅(件以下)		—	3	3	3	3

※我が社では、ISO14001を取得した2003年から既に環境活動に取り組んでおり、社員の環境への活動も定着している事から、今後の削減が非常に厳しい状態となっております。しかし、近年達成率が上がってきたことから過去2年間の平均使用量を基準値として削減に取り組む事により活動を継続していきます。

※我が社では、化学物質の使用については、取扱はありません

但し、以下の目標については個別設定とします

#### 【車両燃費】

車両燃費については、前年度の実績値を基準値として活動を継続していきます。

#### 【環境に配慮した施工業務の推進】

現場での環境負荷を検討した結果、我が社では「車両による移動」が重大だと考えられます。

ヒューマンエラーを撲滅し作業の効率化を図る事で、環境配慮へと繋がる事から

1年間でのヒューマンエラー撲滅件数を3件以下とします。



## 4. 環境経営目標及び実績報告

### 2. 環境経営目標の実績報告

(2023年1月～2023年12月)

項目	年	2023年		
		目標	実績	評価(達成率)
CO <sub>2</sub> 排出量の削減 及び 省エネルギーの推進	二酸化炭素排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	83,354	76,391	109.1%
	電力使用量 (kWh)	32,384	35,289	91.8%
	車両燃料(ガソリン・軽油) 使用量(L)	28,223	24,596	114.7%
	車両燃費 (km/L)	11.5	11.9	96.6%
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量 (kg)	680	519	131.0%
	産業廃棄物排出量 (t)	5.0	1.4	357.1%
水資源の削減	水使用量 (m <sup>3</sup> )	95	105	90.5%
環境に配慮した 施工業務の推進	作業の効率化 ヒューマンエラーの発生 (件以下)	3	15	20.0%

※二酸化炭素排出量の算出に用いた購入電力排出係数は、  
四国電力0.532kg-CO<sub>2</sub>/KWh、中国電力0.540kg-CO<sub>2</sub>/KWhです。(2023年実績)

項目	2023年	コメント
CO <sub>2</sub> 排出量の削減 及び 省エネルギーの推進	二酸化炭素排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	達成率109.1%で目標を達成することができた。引き続きエコ運転等実施し二酸化炭素排出量削減に努める。
	電力使用量 (kWh)	達成率91.8%で目標を達成することができなかった。引き続き電力使用量削減を意識し節電を行う。
	車両燃料(ガソリン・軽油) 使用量 (L)	達成率114.7%で目標を達成することができた。引き続きアイドリングストップ等実施し車両燃料の節約に努める。
	車両燃費 (km/L)	エコ運転等実施したことにより目標を達成することが出来た。引き続き車両の燃費管理、エコ運転・アイドリングストップを実施し車両燃費向上に努める。
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量 (kg)	達成率131.0%と目標を達成することができた。引き続きミスコピーの防止や裏紙利用を実施し排出量削減に努める。
	産業廃棄物排出量 (t)	達成率357.1%と目標を達成することができた。引き続き廃棄物の保管・分別等を徹底し排出量削減に努める。
水資源の削減	水使用量 (m <sup>3</sup> )	達成率90.5%と目標を達成することができなかった。引き続き節水等実施し水使用量の削減に努める。
環境に配慮した 施工業務の推進	作業の効率化 ヒューマンエラーの発生 (件以下)	達成率20.0%と目標を達成することはできなかった。ヒューマンエラー件数の7割は車両による事故である。運転中は法定速度を守り停止線では必ず止まる等安全運転を実施。また、業務上悪路を通ることが多いため速度を出しすぎないようにし周辺の障害物等に注意し走行する。引き続きヒューマンエラーの撲滅に努める。

## 4. 環境経営目標及び実績報告

### ◆実施した取り組み内容◆

CO2排出量の削減 及び 省エネルギーの推進	<ul style="list-style-type: none"><li>・エアコンの温度管理(寒冷時:室温20℃、温暖時:室温26℃)</li><li>・不要照明の消灯(昼休憩・不在時など)</li><li>・退社時は、OA機器の電源オフ・待機電力を切る。</li><li>・PCの長時間未使用時には、電源オフにする。</li><li>・エコ運転の実施</li><li>・運行前点検(外観点検)の実施</li><li>・ガソリン・軽油の使用量(燃費)の確認</li></ul>
廃棄物排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"><li>・コピー損紙(裏紙)の有効利用</li><li>・ミスコピーの防止及びペーパーレス化</li><li>・一般廃棄物の分別確認及び排出量を確認する</li><li>・産業廃棄物の保管・分別管理の徹底</li></ul>
水資源の削減	<ul style="list-style-type: none"><li>・節水活動の励行</li><li>・漏水点検の実施(毎月)</li></ul>
環境に配慮した 施工業務の推進	<ul style="list-style-type: none"><li>・KYの実施</li><li>・安全日誌の活用</li><li>・手順書の充実</li><li>・ヒューマンエラーの削減</li></ul>



## 5. 環境経営計画及び取組結果への評価 次年度の取組内容

### ◆ 環境経営計画 ◆

1. 電力使用量の削減
  - (1) エアコンの温度管理  
(寒冷時:室温20℃、温暖時:室温26℃)
  - (2) 不要照明の消灯(昼休憩・不在時など)
  - (3) 退社時は、OA機器の電源オフ・待機電力を切る
  - (4) PCの長時間未使用時には、電源オフにする。
2. 車両燃料使用量の削減(ガソリン・軽油)
  - (1) エコ運転の実施
  - (2) 運行前点検(外観点検)の実施
  - (3) ガソリン・軽油の使用量(燃費)確認
3. 廃棄物排出量の削減(一般廃棄物・産業廃棄物)
  - (1) コピー損紙(裏紙)の有効利用
  - (2) ミスコピーの防止及びペーパーレス化
  - (3) 一般廃棄物の分別確認及び排出量を確認する
  - (4) 産業廃棄物の保管・分別管理の徹底
4. 水使用量の削減
  - (1) 節水活動の励行
  - (2) 漏水点検の実施(毎月)
5. 環境に配慮した施工業務の推進
  - (1) KYの実施
  - (2) 安全日誌の活用
  - (3) 手順書の充実
  - (4) ヒューマンエラーの削減
6. 個人活動
  - (1) 個人目標を設定し、結果を環境日報に記録することにより  
個人での環境活動を意識付ける



## 5. 環境経営計画及び取組結果への評価 次年度の取組内容

### ◆ 取組結果、次年度の取組 ◆

#### 1. 電力使用量の削減

「省資源・省エネの実施手順書」に基づき、エアコンの温度管理、不要照明の消灯、退社時はOA機器の電源オフ・待機電力を切る、PCの長時間未使用時には電源オフにする、これらすべて継続的に実施できています。今後も引き続き電力使用量削減を意識し次年度も目標に向けて活動を継続していきます。次年度の目標は電力使用量32,053(kWh)以下です。

#### 2. 車両燃料使用量の削減(ガソリン・軽油)

##### ◆◇ 車両燃料 ◇◇

「省資源・省エネの実施手順書」に基づき、車両燃料使用量の削減に取り組み、目標に対し114.7%の達成率となり目標を達成出来ました。エコ運転の実施、運行前点検(外観点検)の実施、ガソリン・軽油の使用量(燃費)の確認、これらすべて継続的に実施できています。引き続きエコ運転や燃費の確認等実施し次年度も目標を達成できるように活動を継続していきます。次年度の目標は車両燃料(ガソリン・軽油)使用量27,935(L)以下です。

##### ◆◇ 車両燃費 ◇◇

「省資源・省エネの実施手順書」に基づき、車両燃費の向上に努めた結果、11.9km/Lの車両燃費となり目標を達成出来ました。エコ運転の実施、運行前点検(外観点検)の実施、ガソリン・軽油の使用量(燃費)の確認、これらすべて継続的に実施出来ています。引き続きエコ運転や燃費の確認等実施し次年度も目標を達成できるように活動を継続していきます。次年度の目標は車両燃費11.6(km/L)以上です。



## 5. 環境経営計画及び取組結果への評価 次年度の取組内容

### ◆ 取組結果、次年度の取組 ◆

#### 3. 廃棄物排出量の削減(一般廃棄物・産業廃棄物)

##### ◆◇一般廃棄物◆◇

「省資源・省エネの実施手順書」に基づき、一般廃棄物の削減に取り組む目標に対し131.0%の達成率となり目標を達成することが出来ました。コピー損紙(裏紙)の有効利用、ミスコピーの防止及びペーパーレス化、一般廃棄物の分別確認及び排出量を確認する、産業廃棄物の保管・分別管理の徹底、これらすべて継続的に実施できています。引き続き廃棄物の保管・分別管理等徹底し次年度も目標に向けて活動を継続していきます。次年度の目標は一般廃棄物排出量673(kg)以下です。

##### ◆◇産業廃棄物◆◇

「廃棄物管理手順書」に基づき、廃棄物の保管・分別を徹底しましたが、目標に対し357.1%の達成率となり目標を達成することが出来ました。コピー損紙(裏紙)の有効利用、ミスコピーの防止、一般廃棄物の分別確認及び排出量を確認する、産業廃棄物の保管・分別管理の徹底、これらすべて継続的に実施できています。引き続き廃棄物の保管・分別管理等徹底し次年度も目標に向けて活動を継続していきます。次年度の目標は産業廃棄物排出量5.0(t)以下です。

#### 4. 水使用量の削減

「省資源・省エネの実施手順書」に基づき、節水活動の励行、漏水点検の実施(毎月)、これらすべて継続的に実施できています。引き続き次年度も目標に向けて活動を継続していきます。次年度の目標は水使用量94(m<sup>3</sup>)以下です。



## 5. 環境経営計画及び取組結果への評価 次年度の取組内容

### ◆ 取組結果、次年度の取組 ◆

#### 5. 環境に配慮した施工業務の推進

KYの実施、安全日誌の活用、手順書の充実、これらは継続的に実施できていますがヒューマンエラーの削減については3件以下に抑えられませんでした。ヒューマンエラーのほとんどが車両事故のため業務で悪路を通る時などは速度を出しすぎないようにし周辺の障害物等に注意し走行することを徹底します。次年度も引き続きヒューマンエラー発生件数3件以下を目標にヒューマンエラーの撲滅に取り組んでいきます。

#### 6. 個人活動

夏季におけるノーネクタイ冬季における重ね着等服装の工夫、個人目標を設定し環境活動に努める、これらすべて継続的に実施できています。次年度も引き続き環境配慮に繋がる個人目標を設定し活動を継続していきます。

#### 7. 太陽光発電システムの導入(2009年12月)

太陽光発生パネルの設置により、2023年度は2,624kgのCO2削減に繋がりました。



## 6. 環境関連法規制の遵守状況

当社に関する主要な環境関連法規制は下記の通りです。

適用される法規・条例	当社の対応	遵守状況	確認日
環境基本法	第8条事業者の責務	○	2024/1
循環型社会形成推進基本法	第11条事業者の責務	○	2024/1
下水道法	第10条排水設備の設置等	○	2024/1
浄化槽法	第10. 11条浄化槽管理管理者の責務	○	2024/1
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 同 施工規則	第3条事業者の責務 第11. 12条産業廃棄物の処理 第8条の4の2委託契約に含まれるべき事項	○	2024/1
特定家庭用機器再商品化法	第6条事業者及び消費者の責務	○	2024/1
グリーン購入法	第5条事業者及び国民の責務	○	2024/1
地球温暖化対策法の推進に関する法律	第5条事業者の責務	○	2024/1
フロン排出抑制法	3ヶ月に1回簡易点検の実施	○	2024/1

環境関連法規の遵守状況を社内で確認した結果、違反はありませんでした。  
また、過去にわたって外部からの指摘・指導及び訴訟もありませんでした。



## 7. 代表者による全体の評価と見直し・指示



### ◆代表者による全体の評価と見直し・指示◆

環境負荷の軽減については、当社の事業活動の内容から厳しい状況であるが、現状システムにおける活動を継続推進していくことが重要である。当社の現状の問題点は、業務の効率化及び均一化とヒューマンエラーの削減の2点である。この2点を改善し、環境負荷の軽減に繋げる必要がある。当社の受注額に応じた達成度を分析した結果において、長期的には良い活動結果がでている。よって環境経営方針と環境経営目標及び実施体制についての変更の必要はないと指示があった。

見直しの実施日:2024年 1月 19日

代表取締役 飯間 勝之

